

猪熊寛樹 いのま かんき 國學者。天保十八年六月一日讃岐國生れ、大正元年八月一日歿（一八三二—一九二二）。講千枝、通稱舎人、淺之進。號瑞枝舎。家は代々白鳥神社神主。高松藩の文學友安の冬、友部方秀、中村尚輔等と學ぶ。明治二年京都に移住。白峰宮禰宜、護王神社禰宜を経て、十八年京都府師範學校、第一高等女學校教諭、まゝ賀陽宮、久邇宮の侍讀となりた。二十九年以降は講書始の進講。明治天皇崩御の痛哭をこぼす。

『瑞枝舎百首』

（大正元年九月—二十七年）猪熊淡菴呂繡刊）を上梓。

